

## 平成27年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立上河内中学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や生徒の実態を保護者や地域の方々に十分ご理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって生徒を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成27年度「全国学力・学習状況調査」における本校生徒の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

### 【調査の概要】

#### 1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

#### 2 調査期日

平成27年4月21日(火)

#### 3 調査対象

中学校 第3学年(国語A・B, 数学A・B, 理科, 生徒質問紙)

#### 4 本校の参加状況

|       |     |     |     |
|-------|-----|-----|-----|
| ① 国語A | 86人 | 国語B | 86人 |
| ② 数学A | 86人 | 数学B | 86人 |
| ③ 理科  | 87人 |     |     |

#### 5 留意事項

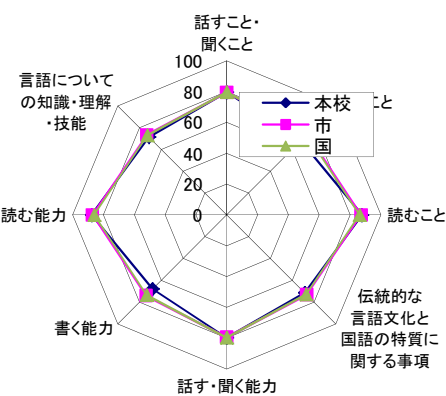
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、数学、理科の3教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部分であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立上河内中学校第3学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

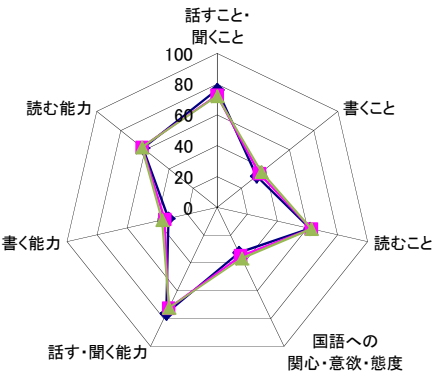
【国語A】

| 分類  | 区分                   | 本年度  |      |      |
|-----|----------------------|------|------|------|
|     |                      | 本校   | 市    | 国    |
| 領域等 | 話すこと・聞くこと            | 79.7 | 79.5 | 79.7 |
|     | 書くこと                 | 68.1 | 74.1 | 73.6 |
|     | 読むこと                 | 87.7 | 87.2 | 86.1 |
|     | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | 71.5 | 73.4 | 72.9 |
| 観点  | 国語への関心・意欲・態度         |      |      |      |
|     | 話す・聞く能力              | 79.7 | 79.5 | 79.7 |
|     | 書く能力                 | 68.1 | 74.1 | 73.6 |
|     | 読む能力                 | 87.7 | 87.2 | 86.1 |
|     | 言語についての知識・理解・技能      | 71.5 | 73.4 | 72.9 |



【国語B】

| 分類  | 区分                   | 本年度  |      |      |
|-----|----------------------|------|------|------|
|     |                      | 本校   | 市    | 国    |
| 領域等 | 話すこと・聞くこと            | 76.4 | 72.8 | 72.2 |
|     | 書くこと                 | 32.6 | 35.0 | 36.7 |
|     | 読むこと                 | 61.8 | 62.6 | 62.6 |
|     | 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 |      |      |      |
| 観点  | 国語への関心・意欲・態度         | 32.6 | 35.0 | 36.7 |
|     | 話す・聞く能力              | 76.4 | 72.8 | 72.2 |
|     | 書く能力                 | 32.6 | 35.0 | 36.7 |
|     | 読む能力                 | 61.8 | 62.6 | 62.6 |
|     | 言語についての知識・理解・技能      |      |      |      |



★国語に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「国語の勉強は好きですか」という調査の問いに対して、当てはまる又はどちらかといえば当てはまるの回答が85.2%である。また、「国語の勉強は大切だと思いますか」という調査の問いに対しては、98.9%が当てはまる又はどちらかといえば当てはまると回答しており、国語を学ぶ意欲が高い。  
●「読書が好きですか」という調査の問いは、県の平均より7.3ポイント低い状況である。読書の時間の充実を図っていきたい。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

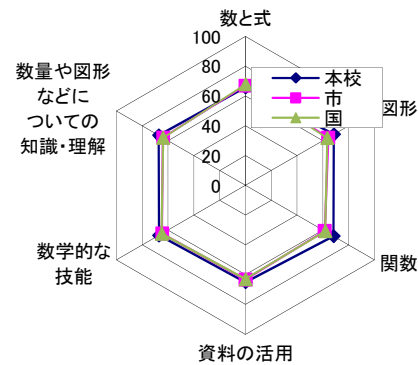
| 分類・区分                | 本年度の状況                                                                                                                                                                                                                                     | 今後の指導の重点                                                                           |
|----------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 話すこと・聞くこと            | ○国語Aの領域の平均正答率は79.7%で全国平均と同じである。<br>○国語Bの領域の平均正答率は76.4%で全国平均より4.2ポイント高い。<br>○「相手の反応を踏まえて話す」という問いの正答率が95.3%と全国平均よりも2.3ポイント高い。また選択式の問いの平均正答率が全国平均より高い状況である。<br>●「成否」という言葉を、分かりやすい表現に直すという問いの平均正答率が、全国平均より5.7ポイント低い。この問題の無解答率が全国平均より2.0ポイント高い。 | ・言葉を聞き取ったものの、意味が分からず間違えたり、無解答だったりした生徒が多い。語彙を増やすために辞書を引いたり、新聞を読ませたりする学習活動を計画的に設定する。 |
| 書くこと                 | ●国語Aの領域の平均正答率は68.1%で全国平均より5.5ポイント低い。<br>●国語Bの領域の平均正答率は32.6%で全国平均より4.1ポイント低い。<br>●国語Aの領域では全ての設問で全国平均を下回った。<br>○国語Bの領域では「資料の提示の仕方を工夫し、その理由を具体的に書く」設問での平均正答率が全国平均より3.1ポイント高い。                                                                 | ・国語Aの領域では、伝えたい事柄が明確になるように文章の構成を考える設問の平均正答率が低い。文章を書く際に、文章の構成を考えさせながら文章を書くように指導していく。 |
| 読むこと                 | ○国語Aの領域の平均正答率は87.7%で全国平均より1.6ポイント高い。<br>●国語Bの領域の平均正答率は61.8%で全国平均より0.8ポイント低い。<br>○「登場人物の心情や行動に注意して内容を理解する」設問では、全国平均より0.8ポイント高い。<br>●「文章の中心的部分と付加的部分などを読み分け、要旨を捉える」問題の正答率が全国平均より7.3ポイント低い。                                                   | ・目的に応じて要旨を捉える設問での平均正答率が低い。説明文などで要旨を捉え、短い言葉でまとめる練習を計画的に設定する。                        |
| 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 | ●国語Aの領域の平均正答率は71.5%で全国平均より1.4ポイント低い。<br>●「文脈に即して漢字を書く」設問の平均正答率が低い。<br>○「文脈に即して漢字を読む」設問の正答率は全ての問題で、全国の平均正答率を上回っている。<br>●「単語の種別について理解する」設問の正答率がとても低い。                                                                                        | ・品詞の違いを理解し、単語の類別をすることができていない。文法に苦手意識をもっている生徒が多いことが分かる。繰り返し問題を解く時間を設定し、理解を図る。       |

宇都宮市立上河内中学校第3学年【数学】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

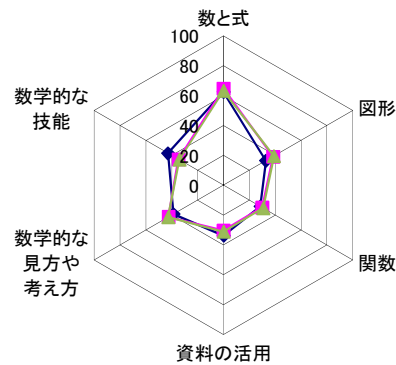
【数学A】

| 分類 | 区分                | 本年度  |      |      |
|----|-------------------|------|------|------|
|    |                   | 本校   | 市    | 国    |
| 領域 | 数と式               | 65.9 | 67.0 | 67.7 |
|    | 図形                | 68.5 | 64.1 | 63.4 |
|    | 関数                | 68.2 | 61.4 | 61.7 |
|    | 資料の活用             | 65.1 | 63.3 | 63.0 |
| 観点 | 数学への関心・意欲・態度      |      |      |      |
|    | 数学的な見方や考え方        |      |      |      |
|    | 数学的な技能            | 67.1 | 64.8 | 65.0 |
|    | 数量や図形などについての知識・理解 | 67.3 | 64.0 | 63.9 |



【数学B】

| 分類 | 区分                | 本年度  |      |      |
|----|-------------------|------|------|------|
|    |                   | 本校   | 市    | 国    |
| 領域 | 数と式               | 62.5 | 64.8 | 63.2 |
|    | 図形                | 32.8 | 38.3 | 39.0 |
|    | 関数                | 28.4 | 29.9 | 30.7 |
|    | 資料の活用             | 33.7 | 30.4 | 31.2 |
| 観点 | 数学への関心・意欲・態度      |      |      |      |
|    | 数学的な見方や考え方        | 38.8 | 42.6 | 42.8 |
|    | 数学的な技能            | 43.0 | 34.9 | 34.2 |
|    | 数量や図形などについての知識・理解 |      |      |      |



★数学に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

- 「数学の勉強は好きか」という問いに対しては肯定的な回答が50ポイントで全国の平均を6ポイント下回っている。
- 「数学ができるようになりたいと思うか」という問いに対しては肯定的な回答が全国平均より2.8ポイント高く、「学習したことは将来社会に出たときに役に立つと思うか」は3.5ポイント高い。
- 「数学の授業で公式やきまりを習うとき根拠を理解するようにしている」という問いに対する肯定的な回答は全国平均より6.1ポイント高い。

★指導の工夫と改善

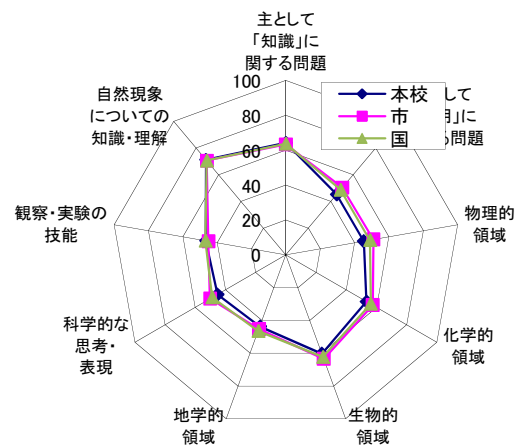
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分 | 本年度の状況                                                                                                                                                                     | 今後の指導の重点                                                                                               |
|-------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 数と式   | ●数学Aの平均正答率は全国平均より1.8ポイント低い。<br>●数学Bは0.7ポイント低い。<br>○正負の数、式の計算、1次方程式の計算の正答率は全国平均を上回っている。<br>●数量を文字式に表すこと、文字式を使って説明すること等式の変形、連立方程式を作る問題の正答率は全国平均を下回っている。                      | ・今後も計算問題に取り組みせる時間を多くもち、習熟を図っていく。<br>・数学的な見方や考え方を必要とする問題にも十分対応できるように、発展的な内容に取り組みせる時間を設定する。              |
| 図形    | ○数学Aの平均正答率は全国平均より5.1ポイント高い。<br>●数学Bの平均正答率は6.2ポイント低い。学習したことをいろいろな場面に活用することができていない。<br>●数学Aの「平行移動した図形をかく問題」は全国平均より4.5ポイント下回っている。<br>○数学Aの他の問題はほとんど全国平均を上回っている。               | ・3年生で「相似」「円」について学習する前に、図形の用語、定義や定理、証明の考え方などを、もう一度復習し、発展問題に取り組む機会を増やし、活用する力を身に付けさせていく。                  |
| 関数    | ○数学Aの平均正答率は6.5ポイント全国平均より高い。<br>●数学Bの平均正答率は2.3ポイント全国平均より低い。<br>○比例・反比例、1次関数の意味や表や式、グラフを書くことについては理解している生徒が多く、全国平均を上回っている。<br>●時間と道のりの関係を表すグラフから速さを読み取ること、2元1次方程式のグラフは正答率が低い。 | ・3年生での関数の学習の際に、既習事項を繰り返し指導して定着を図る。<br>・関数を活用することが苦手な生徒が多いので、身の回りの事象を関数的に捉え、それを利用するような問題に取り組む機会を多く設定する。 |
| 資料の活用 | ○数学Aは全国平均より2.1ポイント、数学Bは2.5ポイント上回っている。<br>●中央値等用語の意味をまだ覚えていない生徒が多い。                                                                                                         | ・資料の整理と活用、確率の基本的な内容を復習させ、定着を図る。<br>・資料の整理や確率で学習したことを活用したり説明したりする問題に取り組む機会を設定する。                        |

宇都宮市立上河内中学校 第3学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

| 分類  | 区分             | 本年度  |      |      |
|-----|----------------|------|------|------|
|     |                | 本校   | 市    | 国    |
| 枠組み | 主として「知識」に関する問題 | 64.2 | 63.3 | 63.8 |
|     | 主として「活用」に関する問題 | 45.3 | 50.3 | 48.8 |
| 分野等 | 物理的領域          | 45.3 | 50.9 | 48.9 |
|     | 化学的領域          | 53.4 | 57.5 | 56.2 |
|     | 生物的領域          | 60.3 | 63.4 | 62.2 |
|     | 地学的領域          | 43.7 | 45.2 | 46.4 |
| 観点  | 自然現象への関心・意欲・態度 |      |      |      |
|     | 科学的な思考・表現      | 45.3 | 50.3 | 48.8 |
|     | 観察・実験の技能       | 46.6 | 45.1 | 46.8 |
|     | 自然現象についての知識・理解 | 71.3 | 70.6 | 70.6 |



★理科に関する質問紙調査の状況

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○理科に対する興味・関心の割合については、全国の解答よりも上回っている。

- 理科の勉強の大切さや、学習した内容が生活の場で活用できるか考えている割合が低い。
- 自分の考えや考察を周りの人に説明したり発表させる回数が少ない。
- 観察・実験の結果の考察が少ない。

★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

| 分類・区分 | 本年度の状況                                                                                                                                                                                                             | 今後の指導の改善                                                                                                                                                                            |
|-------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 物理的領域 | <ul style="list-style-type: none"><li>●平均正答率は45.3%で全国平均より3.6ポイント低く、県平均より4.1ポイント低い。</li><li>●目のレンズと網膜の距離はほぼ変わらないという条件に対して、他者の意見を検討し、適切な方法を説明することが不十分である。</li><li>○検流計の針が振れる理由について、言葉を使って説明することができる。</li></ul>       | <ul style="list-style-type: none"><li>・視覚的に内容を理解することが難しい分野なので、モデルや図を活用して授業展開していく。</li><li>・基礎学力が定着していないので、授業の導入で前時の復習をしていく。また、家庭学習の習慣ができていないので課題を与え、学習習慣を身に付けさせる。</li></ul>         |
| 化学的領域 | <ul style="list-style-type: none"><li>●平均正答率は53.4%で全国平均より2.8ポイント低く、県平均より3.3ポイント低い。</li><li>●目に見えないものを考える力が弱いので、気体の正確な体積を求める説明できない。また、対照実験を計画することが苦手である。</li><li>○グラフを分析し解釈することができる。</li></ul>                      | <ul style="list-style-type: none"><li>・実験器具の組み立て方法、実験結果を予想させる。また、結果から考察させていく。</li><li>・基礎学力が定着していないので、授業の導入で前時の復習をしていく。また、家庭学習の習慣ができていないので課題を与え、学習習慣を身に付けさせる。</li></ul>             |
| 生物的領域 | <ul style="list-style-type: none"><li>●平均正答率は60.3%で全国平均より1.9ポイント低く、県平均より1.5ポイント低い。</li><li>●デンプンが分解し最終的に何ができるかについて、理解が不十分である。</li><li>●えらぶたの開閉の平均値を求める理由の説明が不十分である。</li><li>○脊椎動物など、身近な動物に関しては理解が不十分である。</li></ul> | <ul style="list-style-type: none"><li>・物理、化学分野と比較すると視覚的に理解しやすい分野なので、自分の考えを説明させる場面を多くしていく。</li><li>・基礎学力が定着していないので、授業の導入で前時の復習をしていく。また、家庭学習の習慣ができていないので課題を与え、学習習慣を身に付けさせる。</li></ul> |
| 地学的領域 | <ul style="list-style-type: none"><li>●平均正答率は43.7%で全国平均より2.7ポイント低く、県平均より1.5ポイント低い。</li><li>●気圧の変化で袋が膨らむ実験計画をすることが苦手である。</li><li>○天気図から風力を読み取る。また、風向に対しての風向計を選ぶことができる。</li></ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"><li>・身近な教材を活用して、視覚的に捉えやすいように授業展開をしていく。</li><li>・基礎学力が定着していないので、授業の導入で前時の復習をしていく。また、家庭学習の習慣ができていないので課題を与え、学習習慣を身に付けさせる。</li></ul>                  |

# 宇都宮市立上河内中学校第3学年生徒質問紙調査

## 調査結果

※「学校教育スタンダード」の到達目標と直接的・間接的に関連のあるもの

及び宇都宮市平均や全国平均と差が顕著なものを取り上げた。

| No. | 主な質問と回答内容                                                                  | 本校    | 宇都宮市 | 市との差  | 全国平均 | 全国との差 |
|-----|----------------------------------------------------------------------------|-------|------|-------|------|-------|
| 1   | 学校に行くのは楽しいと思いますか⇒(どちらかといえば)当てはまる                                           | 88.6  | 84.2 | 4.4   | 82.1 | 6.5   |
| 2   | 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか⇒(どちらかといえば)当てはまる                           | 89.8  | 88.8 | 1.0   | 84.2 | 5.6   |
| 3   | 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか⇒(どちらかといえば)そう思う             | 71.6  | 71.5 | 0.1   | 62.9 | 8.7   |
| 4   | 「総合的な学習の時間」の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか⇒(どちらかといえば)当てはまる            | 85.2  | 83.6 | 1.6   | 74.6 | 10.6  |
| 5   | 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの活動に取り組んでいますか⇒(どちらかといえば)当てはまる | 79.6  | 74.8 | 4.8   | 58.0 | 21.6  |
| 6   | 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか⇒(どちらかといえば)当てはまる                                 | 45.4  | 53.1 | -7.7  | 49.6 | -4.2  |
| 7   | 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか⇒(どちらかといえば)そう思う                       | 51.2  | 61.0 | -9.8  | 64.4 | -13.2 |
| 8   | 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか⇒(どちらかといえば)そう思う              | 58.0  | 60.4 | -2.4  | 64.4 | -6.4  |
| 9   | 自分にはよいところがあると思いますか⇒(どちらかといえば)当てはまる                                         | 68.2  | 75.7 | -7.5  | 68.1 | 0.1   |
| 10  | 人の気持ちが分かる人間になりたいと思いますか⇒(どちらかといえば)当てはまる                                     | 97.7  | 96.1 | 1.6   | 94.9 | 2.8   |
| 11  | いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか⇒(どちらかといえば)当てはまる                               | 100.0 | 96.4 | 3.6   | 93.7 | 6.3   |
| 12  | 人の役に立つ人間になりたいと思いますか⇒(どちらかといえば)当てはまる                                        | 92.0  | 95.5 | -3.5  | 93.7 | -1.7  |
| 13  | 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか⇒(どちらかといえば)当てはまる                            | 37.5  | 45.8 | -8.3  | 32.9 | 4.6   |
| 14  | 新聞を読んでいますか⇒週に1～3回程度                                                        | 23.9  | 19.9 | 4.0   | 18.8 | 5.1   |
| 15  | 読書は好きですか⇒(どちらかといえば)当てはまる                                                   | 62.5  | 75.5 | -13.0 | 67.9 | -5.4  |
| 16  | 学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(塾や家庭教師を含む)⇒2時間以上                | 29.6  | 36.0 | -6.4  | 35.7 | -6.1  |
| 17  | 普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(勉強のためのものは除く)⇒1時間未満        | 13.6  | 17.1 | -3.5  | 16.6 | -3.0  |
| 18  | 毎日朝食を食べていますか⇒(どちらかといえば)している                                                | 95.5  | 95.1 | 0.4   | 93.5 | 2.0   |
| 19  | 毎日同じくらいの時刻に起きていますか⇒(どちらかといえば)している                                          | 90.9  | 92.8 | -1.9  | 92.1 | -1.2  |

## ★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○No.1、2の肯定的回答率は全国平均、宇都宮市平均を上回っており、学校生活に適応し、学校生活が楽しいと感じている生徒が多い。一人一人が生き生きと活動できるよう行事を充実させていく。

○No.3の肯定的回答率は、全国平均、宇都宮市平均を上回っている。「表現力を高め、自分の考えを伝え合う授業」をテーマに昨年度より校内授業公開や授業研究会を実施してきたため、話し合い活動の大切さを認識している生徒が多い。今後、話し合い活動を通して自分の考えたことを深めたり、広げたりし、またそれを発表するなどの機会の充実を図っていく。

○No.4、5の肯定的回答率は全国平均、宇都宮市平均を上回っている。特に全国平均を21.8%上回っており、総合的な学習の時間に各自が探究的な学習を展開している。今後自分の調べたことを整理し、自分の考えをまとめて効果的に発表するためのスキル学習を充実させていく。

●No.6、7、8と全国平均、宇都宮市平均とも下回っている。話し合う活動は大切であると認識してはいるが、文章で書いたり、発表することに対して苦手意識をもっており、校内研修を通して今後も表現力の育成を目指した授業の工夫や改善を図っていくことが必要である。またNo.15の数字は市平均より13%低い。読書は語彙力を増やすよい機会であり、表現力と大きな関わりがあるため今後読書の重要性を指導していく。

●No.9肯定的回答率は全国平均とほぼ同じ数字であるが、宇都宮市平均と比べて7.5%下回っており、自分のよさに気付いていない生徒が多く見られる。一人一人がお互いを認め合い、その中で生徒が自己有用感を高めていくような指導を工夫していく。自分への自信のなさが、発表することに対し消極的な生徒が多いことと関係していると考えられる。

○No.10、11の肯定的回答率は全国平均、宇都宮市平均を上回っており、特にNo.11のいじめに対する認識は肯定的回答率は100%と高い数字となっている。いじめゼロ運動、人権集会を始めとする積極的な取組の成果が数字に表れている。今後も道徳や様々な教育活動を通して他人の気持ちが分かる生徒を育てていく。

●No.12の肯定的回答率は全国平均、宇都宮市平均を下回っている。またNo.13の肯定的回答率も市平均を8.3%下回っている。道徳や教育活動を充実させ、人のために頑張ろうとする豊かな心をはぐくんでいく。そして生まれ育った地域をよくしていこうという態度を育てるために、地域の行事や交流などに積極的に参加するように指導していく。

●No.16、17の家庭学習への取組の肯定的回答率が全国平均、宇都宮市平均を下回っている。家庭学習の習慣が十分に身に付いておらず、学習時間が少ないことが分かる。計画を立て学習を進めていく指導を行っていく。

○No.18の肯定的回答率は全国平均、宇都宮市平均を上回っている。規則正しい食生活が健やかな生活リズムを作ることから、保護者の協力を得ながら正しい理解と望ましい生活習慣の充実をさらに図っていく。